

令和 2 年 度  
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書  
(令和元年度対象)

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

令和 2 年 1 1 月  
寄居町教育委員会

## 目 次

I 趣旨 .....	2
II 点検・評価の基本方針 .....	2
III 点検・評価の結果 .....	3
「第6次寄居町総合振興計画基本構想」における基本方針及び基本施策	
・ [成長と学びの環境の充実] 学校教育と教育環境の充実	3
・ [成長と学びの環境の充実] 生涯学習環境の充実	15
・ [成長と学びの環境の充実] スポーツ環境の充実	19
・ [成長と学びの環境の充実] 青少年の健全育成	21
・ [活躍の場の充実] 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援	24
・ [活躍の場の充実] 地域間交流・国際交流の推進	25
・ [一人ひとりを尊重する地域づくり] 人権尊重と相互理解の促進	26
・ [歴史の継承、文化の振興] 歴史資源の保護・継承	28
・ [歴史の継承、文化の振興] 伝統文化の継承	30
・ [歴史の継承、文化の振興] 文化活動の充実	31
・ [自然資源の保全・継承] 自然環境の継承	34
IV 結びに .....	35

## I 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

寄居町教育委員会では、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

## II 点検・評価の基本方針

「第6次寄居町総合振興計画基本構想」が、2017年度から2026年度（平成29年度から令和8年度）を計画期間として、これからの地域社会や行政サービスのあり方を示し、町民と町がともに目指すまちづくりの目標を掲げ、ともに取り組むことのできる総合振興計画として策定されています。寄居町教育行政の主要施策もこの中に掲げられています。これをもとに教育委員会では、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、次の5つの教育行政重点施策に取り組みました。

1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 教職員の資質向上と教育環境の充実
4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進
5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

点検評価は、「第6次総合振興計画基本構想・前期基本計画」に掲げられた基本施策の取り組みの内、教育委員会で取り組んだものに上記5項目を当てはめて実施いたしました。

なお、この点検評価に当たっては、学識経験を有する方から意見・提言をいただきました。

## Ⅲ 点検・評価の結果

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

### 「成長と学びの環境の充実」

【学校教育、生涯学習、スポーツを通し、豊かな心と人間性・創造性を育てる環境を整えます。】

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」
- 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 学校教育と教育環境の充実

#### 取り組みー1 確かな学力の育成

- ・ 真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識、技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のため、次の取り組みを行いました。

なお、学校においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導方法の充実を図り、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業に努めました。

##### ① 放課後サポートスクール事業

教員経験者や教員免許所有者を放課後サポーターとして、小学校6校にのべ32名配置し、授業の補充(主に算数)を行いました。児童約15人に対して1人のサポーターを配置することで、児童の理解度を把握でき、きめ細やかな指

導を行うことができました。

放課後サポートスクール事業実施状況 (単位：回)

	令和元年度	平成 30 年度	増減
実施回数	26	28	△2

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校となり、2回の減。

## ② 土曜サポートスクール事業

中学校3年生対象の土曜塾では国語の授業を新設し、早い時期から学習意欲を喚起し、学習習慣を定着させるため実施回数を増加するとともに、4月上旬実施の春塾や、5・7月実施の中間・期末テスト対策講座を実施しました。参加生徒の割合は、中学3年全生徒数の4割以上となり、そのうち98%の生徒が希望校に合格しました。

## ③ ハイパーQ Uテストの実施

学級満足度や学校生活意欲度を把握するため、全児童生徒を対象にハイパーQ Uテストを実施しました。このことにより、児童生徒を客観的な視点から理解することができ、児童生徒同士のグループ分けや、教育相談の際の資料として活用しました。

## ④ 学力向上推進委員会の取り組み

学力向上推進委員会を5回開催し、各校の情報交換を行うとともに、学力向上に向けた手立てを話し合うことができました。指導者として県の指導主事を招聘し、県学力・学習状況調査のデータの児童生徒への活用法を共有し、活用することができました。また、読解力向上のため、情報を可視化するための手段である「思考ツール」等について、各校で研究を進めることができました。

## 取り組みー2 英語教育の推進

・ グローバル化に対応できる英語教育の推進のため、次の取り組みを行いました。

### ① 外国語指導助手（ALT）派遣事業

新学習指導要領全面実施となった令和元年度は、小学校5・6年生に外国語として教科化され、3・4年生に外国語活動が導入されました。このことを踏まえて、3年前から担任教員がALTを効果的に活用して授業を進められるように各校から1/3ずつの教員が参加する外国語活動研修会や英会話研修を実施することにより、計画的に小学校の職員全員が参加することができ、外国語

活動の授業やALTとの関わり方に対する意識を変えることができました。

## ② 中学校英語検定無償化事業

中学2年生は1月に、中学3年生は10月に実施される英語検定の受検費用の全額を町が負担しました。この結果、英検受検者の割合が、前年度と比較して3年生は21.5ポイント増加しました。

また、この事業を利用して英検3級以上を取得した生徒の割合は、3年生が27.4%、2年生が12.6%で、いずれも昨年度と比較して増加しました。

(単位：%、ポイント)

学年	区 分	令和元年度	平成30年度	増 減
3年	受検率（対全生徒数）	68.3	46.8	21.5
	3級以上取得率	27.4	16.8	10.6
2年	受検率（対全生徒数）	65.7	78.1	△12.4
	3級以上取得率	12.6	7.9	4.7

## 取り組みー3 小中一貫教育の推進

- ・ 中一ギャップの解消や学びの連続性による学力向上を目指し、小中一貫教育の具現化のため、次の取り組みを行いました。

### ① 小中一貫教育推進計画の作成

中学校区ごとに目指す子供像を決定して共有し、事業計画を立て小中一貫教育に取り組みました。教職員の交流として小中合同の連携研修会、小中の校内研修会への参加を通し、児童生徒の実態把握及び授業技術の共有を図ることができました。中学校英語教員による小学校5・6年生への授業などを行いました。

## 取り組みー4 健やかな体づくり

- ・ 健やかな体づくりのため、次の取り組みを行いました。

### ① 部活動指導員・部活動支援員の配置

専門的な技能を有する指導員2名と支援員2名を3中学校に配置し、放課後や休日の部活動を支援することで、部活動の一層の充実と教職員の負担軽減を図りました。

部活動指導員と部活動支援員の活動状況

(単位：日)

区分	寄居中学校	城南中学校		男衾中学校	合計
	ソフトテニス	剣道	ソフトボール	ソフトテニス	
活動日数	72	33	149	81	72

② 体力向上推進委員会の取り組み

体力向上推進委員会の授業研究部では、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業モデルの創造をテーマに掲げ、桜沢小、折原小、男衾中の3校で研究授業を実施し、授業モデルの提案を行いました。体力調査の結果からは、寄居町内の児童生徒が依然として県内でも高い体力水準にあることが示されました。

③ 校庭芝生維持管理事業

平成29年度に校庭芝生化工事を行った男衾小学校と、平成30年度に校庭芝生化工事を行った寄居中学校において、県の補助金を活用し、以下の事業を委託し、良好な状態を保つことにより、児童生徒の遊び場や運動場として環境作りに貢献しました。

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
男衾小 寄居中	校庭芝生維持管理事業委託	校庭芝生の散水、刈り込み、施肥、除草、補修・目土、刈り処分、排水作業	1,602

**取り組みー5 インクルーシブ教育の推進**

- ・ インクルーシブ教育推進のため、次の取り組みを行いました。

① 教育委員会事務局事業

教育サポートセンターでは、幼稚園・保育園と小学校との円滑な引継ぎを図るため、相談員が年2回、定期的に幼稚園や保育園を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各学校に提供しました。その他、保育園からの要請により就学児童の観察を行ったり、小学校からの要請で教育相談の事例研修に参加したりしました。

また、子供の発達や子育てに関する保護者の悩みについて、電話相談や来所相談を行いました。相談内容により、専門機関や町の子育て支援課へ繋ぎ、支援の充実を図りました。

## 教育サポートセンター相談件数

(単位：件)

区分	令和元年度	平成30年度	増減
電話相談	111	247	△136
来所相談	15	62	△47
専門機関等との連携	402	—	—
合計	528	309	—

### ② 学校サポーター事業

通常学級において配慮を要する児童生徒への学習支援や特別支援学級の児童生徒、病気等により肢体が不自由な児童生徒への学校生活に対する支援を行うため、学習支援サポーターを30人、介助サポーターを15人配置し、昨年度と比較し計4名の増員をはかりました。

学校サポーターの人数が増加したことで、支援が必要な児童生徒が、通常学級の児童生徒との交流が増えました。

### ③ 特別支援教育事業

臨床心理士や教育サポートセンター相談員、さわやか相談員やスクールカウンセラーと連携して34人に対しWISC検査を実施しました。児童生徒の特性を客観的に把握し、「多様な学びの場」があることを保護者に伝えることにより、児童生徒が「安心して学べる」という個に応じた支援へつなげることができました。

## 取り組み－6 教職員の資質向上

- ・ 教職員の資質向上のため、次の取り組みを行いました。

#### ① より・Eスーパーアドバイザー事業

「より・Eスーパーアドバイザー」として、教育技術に優れた退職教員3名が各小学校を巡回し、初任者から5年目までの教員を中心に授業参観、チームティーチングによる授業、教材研究、師範授業といった指導を行いました。

スーパーアドバイザーから、教材研究のポイントや発問、授業の展開について指導を受けたことにより若手教員の指導力向上が図られました。

#### ② 学力向上推進委員会の取り組み

夏期休業中に模擬授業研修会や授業づくり研修会、より・E授業を創る研修会を行い、教員の授業力向上に努めました。

### ③ 指導委員制度の取り組み

町内小中学校において各教科領域で指導力のある教職員を指導委員として委嘱し、各校の授業研究会で指導者としてその力を発揮してもらいました。また、指導委員が北部教育事務所の学校訪問（授業と分科会）に同行する機会を設定し、指導力を更に向上させるように努めました。

### ④ 研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、学習指導の研究を1校（城南中学校）に委嘱し、「学ぶ意欲を高め 確かな学力を育成する学習指導法の研究」を研究主題とし、アクティブ・ラーニングを様々な場面で取り入れるなど、授業改善に努めました。

また、人権教育の研究を2校（折原小学校・男衾小学校）に委嘱し、「深く学び、自他を大切にし、よりよく行動できる児童の育成」を研究主題とし、人権が尊重される学校づくりに取り組みました。（27ページに再掲）

### ⑤ 道徳教育推進事業の取り組み

道徳教育に造詣の深い退職校長1名が、「道徳教育専任講師」として町内小中学校を巡回し、指導のポイント、題材の捉え方等を各校の教員に指導を行いました。本事業により、多くの教員が道徳の授業力の向上を図ることができました。

## 取り組みー7 学校情報通信機器の更新・充実

- ・ ICTを活用した教育環境を整備するため、次の取り組みを行いました。

### ① 学校情報通信機器整備事業

令和2年度の本格的なGIGAスクール構想の実現に向けて、高速大容量の通信ネットワークの整備の準備を進めました。

## 取り組みー8 学校図書館の充実

- ・ 学校図書館の充実のため、次の取り組みを行いました。

学校図書館用図書の購入

（単位：冊、千円）

区分	購入冊数	金額	標準冊数	蔵書数
小学校	756	1,178	44,080	43,787
中学校	64	94	28,640	28,453

## 取り組み－9 学校教材の充実

- ・ 学校教材の充実のため、次の取り組みを行いました。

### ① デジタル教科書導入

授業で活用するため、小学校の算数・社会、中学校の数学・社会においてデジタル教科書を導入しました。教科書を電子黒板やデジタルテレビに表示することで、児童生徒の視覚に訴え、理解を助けることができたと考えます。

また、多様な資料によって話し合いが展開しやすくなり、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業が展開され、アクティブ・ラーニングの推進につながりました。

### ② その他教材の購入

教材基準に基づき、跳び箱やプロジェクター等の教材を購入しました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用してLED顕微鏡や実験器等を新たに購入し、児童生徒の学習意欲の向上を図りました。

## 取り組み－10 子供たちの安全・安心の確保

- ・ 子供たちの安全・安心を確保するため、次の取り組みを行いました。

### ① 小学校遊具安全対策工事

小学校遊具の安全点検結果を受けて、遊具の改修等を行い、児童の安全確保を図りました。

令和元年度に実施した工事

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小 桜沢小 用土小 鉢形小 男衾小	遊具安全対策工事	滑り台安全対策修繕工	3箇所
		雲梯修繕工	1箇所
		ジャングルジム修繕工	1箇所
		登り棒安全対策修繕工	1箇所
		肋木安全対策修繕工	1箇所
		高鉄棒撤去工	1箇所
		丸太更新工	28本
		タイヤ埋直工	1式
		シーソー撤去・新設工	1箇所
			1,914

## ② 通学路安全対策事業

学校における交通安全教室の実施や教員による登下校時の安全指導のほか、学校応援団やスクールガードリーダー等、保護者や地域の方による登下校時の見守り活動などにより、交通事故防止や不審者対策に努めました。

### 取り組みー 1 1 学校施設の長寿命化

- ・ 学校施設の長寿命化のため、次の取り組みを行いました。

#### ① 学校施設個別計画の策定（令和2年度までの継続事業）

「寄居町公共施設等総合管理計画」に基づき、学校の統廃合等の適正配置や長寿命化させていくための計画を令和2年度までに策定するにあたり、学校施設の老朽化状況等を把握するための点検・調査業務を委託し、計画策定の基礎資料作りを行いました。

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費
寄居町学校施設個別計画策定支援業務委託	【作業内容】 ・ 計画策定のための建物情報の整理 ・ 学校施設の現地調査 ・ 構造体の劣化状況調査 ・ コンクリート中性化・圧縮強度試験調査費 15箇所 ・ 給排水管内ファイバースコープ調査費 10箇所	7,513

#### ② 学校施設整備事業

安定的に安全な水道水を供給できるよう給水管や給水機器の更新工事を行ったほか、校舎の雨漏解消工事を行い、学習環境の改善と施設の長寿命化を図りました。

老朽化に伴う不良箇所及び法定点検での指摘箇所の修繕等を実施し、学校施設・設備等の安全確保を図りました。

小学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
桜沢小	給水管更新工事	給水管更新工 L=190m 保温工 L=124m 既存管接続工 1式	1,998
折原小	校舎雨漏解消工事	外壁改修工 一式 目地等改修工 一式	1,296
男衾小	屋上給水ユニット更新工事	給水加圧ユニット更新工 一式	1,263
	配膳室小荷物昇降機機器改修工事	制御盤更新工 一式 電気部品類更新工 一式	829

中学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居中	屋上防水改修工事	屋上平場シート防水工 45 m <sup>2</sup> 立上りシート防水工 18 m <sup>2</sup> 改修用ドレン取付工 2箇所	734
男衾中	武道場排煙窓修繕工事	仮設工 一式 柔道場排煙窓修繕工 一式	743

**取り組みー12 男衾中学校の建替え事業の推進**

- ・ 男衾中学校の建替え事業の推進のため、次の取り組みを行いました。

男衾中学校の建替えに関し、役場内に「男衾中学校建設準備庁内検討委員会」を発足させ、昨年提出された「町立男衾中学校建設準備検討委員会」の提言内容の検討及び男衾小学校との小中一貫教育を視野に入れた中学校の建替え事業の検討を行いました。

**取り組みー13 学校給食の充実**

- ・ 学校給食の充実のため、次の取り組みを行いました。

① 給食センター運営事業

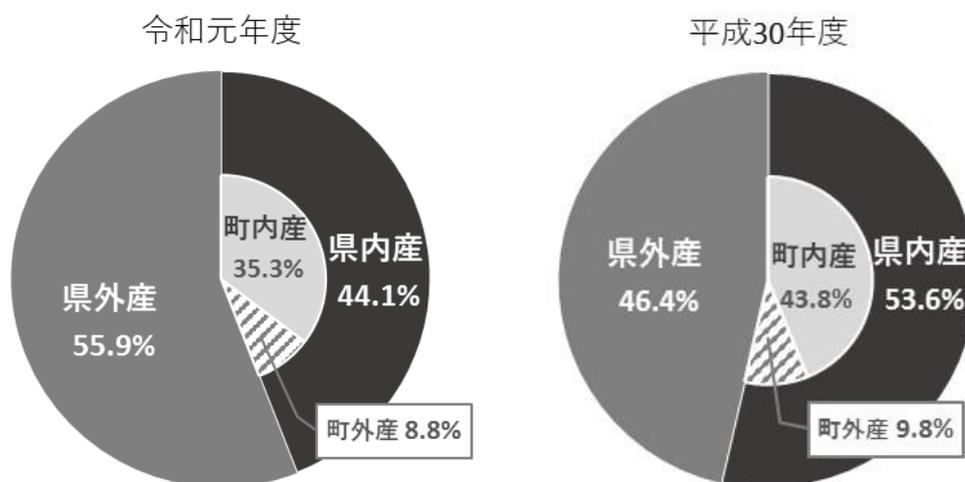
児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進などを図るため、それぞれ

小・中学校に給食を実施しました（1日約2,400食）。新型コロナウイルス感染拡大防止に係る国の要請に基づく臨時休業のため、前年度より少ない小学校169回・中学校168回の実施となりました。

また、安全・安心な給食を提供するため、給食従事者を対象に給食衛生講習会、安全運転講習会、健康状態確認などを実施しました。

給食の食材については、野菜類をJAふかや男衾直売所を通じて発注し、地元産野菜の積極的な使用に努めました。

#### 地元産野菜の割合



食育の推進については、栄養教諭が児童生徒及び保護者等に対して「食」に関する指導を行い、健全な食生活を実践する大切さを伝えました。

献立作りについては、ラグビーワールドカップが熊谷市を会場の一つとして開催されたことにちなんで、ラグビーボール形パン・チーズ、試合を行う国であるロシアのボルシチ、ジョージアのヒンカリ（肉詰め蒸し饅頭）を献立に取り入れ、児童生徒に国際大会への興味を持ってもらえるよう努めました。

加えて、姉妹都市である小田原市や八王子市にちなんだ給食献立の実施や、当町と交流の深いブータン王国の料理「パクシャパ（豚肉と大根のスープ）」を給食メニューに取り入れ、寄居町と関係する都市や国の食文化について、児童生徒の理解を深めました。

また、アンケートで人気の献立を提供する「リクエスト給食」、児童生徒の家庭のメニューを取り入れる「わが家のおすすめ献立」、トントロリンスープ（豚肉入りとろみ付きスープ）や焼きとり等の地域オリジナルのメニュー等、児童生徒が給食を身近に感じられるような献立作りを行いました。これらの献立については、献立表や給食だよりを通じて保護者にお知らせしました。

給食における食物アレルギーについては、引き続きすべての児童生徒の保護者に食物アレルギー献立表を配布して情報提供を行いました。また、食物アレルギーのある児童生徒の保護者に対して個別面談を行い、対応を決めるとともに、アレルギー献立表の活用について栄養教諭による個別指導を行いました。

調理業務委託業者に食中毒防止の徹底を指導し、調理場と来客用トイレのフロア分けの強化等、衛生管理に努めました。

## ② 給食センター施設維持管理事業

安定した給食の提供のため、施設の維持管理に努めました。

主な修繕等の状況

(単位：千円)

事業名	事業費
コンテナ乾燥機修繕工事	5,500
給水ボイラー全自動軟水装置交換修繕	1,059
プラットホームエアーカーテン交換修繕	959
コンテナ乾燥機セルフィルター交換修繕	778

## 取り組み－14 学校運営の改善

- ・ 学校と地域が力を合わせて特色ある学校づくりを進める仕組みとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入しました。学校毎に3～4回、延べ30回の会議を開催しました。教育課程の編成に関することや学校経営計画に関することの承認をいただいたり、児童生徒や授業についての意見をいただいたりすることで、地域と共にある学校づくりの推進を図りました。

## 取り組み－15 就学援助制度の推進

- ・ 子育て世代の経済的負担を軽減するため、次の取り組みを行いました。

### ① 学校教育振興事業

経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助費等の制度の趣旨を周知し、学用品費等の支給を行いました。

なお、就学援助費については、平成29年度から従来の支給費目に新入学に必要な学用品購入のための新入学準備費を加え、入学前の3月中旬に支給しました。

就学援助費等支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		令和元年度	平成30年度	増 減
要保護及び準要保護児童 就学援助費（小学校費）	人数	160	166	△6
	支給額	9,231	9,512	△281
要保護及び準要保護生徒 就学援助費（中学校費）	人数	96	95	1
	支給額	10,310	9,894	416
合計	人数	256	261	△5
	支給額	19,541	19,406	135

就学奨励費支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		令和元年度	平成30年度	増 減
特別支援教育就学奨励費 （小学校費）	人数	17	16	1
	支給額	482	486	△4
特別支援教育就学奨励費 （中学校費）	人数	5	7	△2
	支給額	225	391	△166
合計	人数	22	23	△1
	支給額	707	877	△170

② 私立幼稚園就園奨励費補助事業

私立幼稚園に子供が通う保護者の経済的負担を軽減するため、就園奨励事業を実施しました。また、令和元年10月より新制度の幼児教育無償化が開始されたため、幼稚園就園奨励費補助事業は半年分の支給額となりました。

(単位：人、千円)

区分	令和元年度	平成30年度	増 減
人数	172	182	△10
支給額	11,479	24,866	△13,387

③ 修学資金補助事業

修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、修学資金援助を行いました。

(単位：人、千円)

区分	令和元年度	平成30年度	増減
人数	38	53	△15
支給額	2,275	3,120	△845

④ 給食費補助事業

多子世帯の経済的負担の軽減を図り、子育ての応援を目的とした、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助について、引き続き実施しました。

(単位：人、千円)

区分		令和元年度	平成30年度	増減
小学校	人数	176	181	△5
	補助額	7,084	7,929	△845
中学校	人数	39	38	1
	補助額	1,918	2,074	△156
合計	人数	215	219	△4
	補助額	9,002	10,003	△1,001

## 施策2 生涯学習環境の充実

### 取り組み-1 学習講座の開催

・ 生涯学習環境の充実のため、学習講座の開催など次の取り組みを行いました。

- ① 町民の文化の振興を目的に社会教育の場を提供するため、以下の事業を実施しました。

「まちづくり出前講座」実施状況

(単位：回、人)

区分	実施回数	受講者数
令和元年度	36	913
平成30年度	30	670
増減	6	243

## 取り組み－2 子どもたちの夢への支援（芸術・文化活動）

・子どもたちの夢への支援のため、次の取り組みを行いました。

- ① 近隣の大学でのプログラミング等の講義や工場見学などを通じ、子どもたちの好奇心を刺激する場を提供する「子ども大学よりい」を開催しました。

（単位：人）

区分	内容	延べ参加者数
令和 元年度	君もできる！プログラミング超入門（1日） プログラミングでゲームを作ろう（1日） マイクロビットで電子工作に挑戦！（1日） 明治お菓子工場見学（1日）	148
平成 30年度	落語の実演に挑戦！（1日） 陶芸を学ぼう（2日） 沖縄（八重山地方）の文化と沖縄三線について（1日）	69
増減		79

## 取り組み－3 図書館の充実

・図書館運営事業として、次の取り組みを行いました。

図書館では、町民の多様なニーズに応えるため、図書館資料の整備・充実を進めるとともに、利用者の利便性を向上させるためシステムを更新し、併せて自動貸出機を導入しました。

- ① 日常開館業務 （単位：日、人、点）

区分	令和元年度	平成30年度	増減
開館日数	258	288	△30
入館者数	79,507	82,771	△3,264
有効登録者数	4,944	5,182	△238
貸出人数	47,188	52,231	△5,043
貸出点数	226,518	250,186	△23,668

※有効登録者数：年度内に図書館資料の貸出を受けた登録者数

## ② 移動図書館事業

(単位：回、冊)

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増減
運行回数	158	168	△10
貸出冊数	39,458	41,348	△1,890

## ③ 図書館資料の整備・充実

(単位：冊、点、紙)

区 分		令和元年度	平成 30 年度	増減
図書を受入	購入冊数	4,626	4,725	△99
	寄贈冊数	734	1,416	△682
	計	5,360	6,141	△781
	うち寄居関 連図書冊数	61	90	△29
視聴覚資料を受入	購入点数	83	93	△10
	寄贈点数	5	1	4
雑誌を受入	購入等冊数	2,365	2,466	△101
除籍冊数	図書及び 視聴覚資料	598	221	377
	雑誌	2,155	1,830	325
蔵書冊数 (年度末)	図書及び 視聴覚資料	190,815	185,965	4,850
	雑誌	24,883	24,733	150
新聞の受入数		11	11	0
フリーペーパーの受入数		26	22	4

## ④ 図書館利用促進事業

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増減
図書館関連記事の新聞掲載	1 回	6 回	△5
施設見学	8 件(8 日間)	9 件(9 日間)	△1
	378 人	339 人	39
職場体験、インターンシップ	6 件(12 日間)	3 件(9 日間)	3
	27 人	30 人	△3
一日こども司書体験	6 人(2 日間)	5 人(2 日間)	1

## ⑤ 児童生徒への貸出冊数

(単位：冊)

区 分		令和元年度	平成30年度	増減
町内児童・生徒 1人当たりへの 平均年間貸出 図書館資料数	小学校1～3年児童	27.5	31.4	△3.9
	小学校4～6年児童	12.3	13.6	△1.3
	中学校生徒	2.4	2.5	△0.1

## ⑥ 主催、共催事業

(単位：回、人、件、点)

区 分		令和元年度	平成30年度	増減	
おはなし会	実施回数	20	21	△1	
	参加者数	285	300	△15	
映画会	ミニシアター	実施回数	11	12	△1
		参加者数	152	260	△108
	子ども映画会	実施回数	11	12	△1
		参加者数	378	306	72
	図書館寄席	実施回数	5	—	—
		参加者数	103	—	—
石に絵を描いてみよう (2回開催) 参加者数		35	55	△20	
図書館まつり入館者数(3日間)		1,504	1,458	46	
朗読活動件数 (図書館広報誌朗読録音)		1	4	△3	
布絵本製作活動作品数		2	2	0	

## 取り組みー4 社会教育施設の維持管理

- ・ 社会教育施設維持管理事業として、各コミュニティセンターの消防用設備の修繕や浄化槽修繕、男衾コミュニティセンターの空調機器修繕を行いました。

### 取り組み－5 中央公民館の維持管理

- ・ 中央公民館の維持管理事業として、受水槽定水位弁修繕、高圧電圧計修繕、非常口ドア・排煙窓修繕を行いました。

## 施策3 スポーツ環境の充実

### 取り組み－1 生涯スポーツの推進

- ・ 生涯スポーツの推進のため、次の取り組みを行いました。

#### ① 学校施設開放運営事業

町民がスポーツに親しめる場や機会を提供するため、小・中学校9校の運動場、体育館、武道場を開放しました。

学校施設開放の利用状況

(単位：件、人)

学校名	令和元年度		平成30年度		増減	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
寄居小学校	552	13,590	766	14,137	△214	△547
桜沢小学校	458	7,322	485	8,449	△27	△1,127
用土小学校	481	8,040	520	9,921	△39	△1,881
折原小学校	338	6,243	404	6,518	△66	△275
鉢形小学校	495	8,534	263	3,931	232	4,603
男衾小学校	431	8,430	473	8,822	△42	△392
寄居中学校	242	4,210	270	4,817	△28	△607
城南中学校	287	4,182	394	4,950	△107	△768
男衾中学校	458	10,067	425	9,328	33	739
合計	3,742	70,618	4,000	70,873	△258	△255

#### ② スポーツ活動推進事業

多くの町民がライフステージに応じた様々なスポーツに親しめるよう、体育協会をはじめスポーツ競技団体と連携し、各種スポーツ大会等を開催しました。

各種スポーツ大会等の開催状況

(単位：回、人)

区分	令和元年度		平成30年度		増減	
	事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
種目別大会	24	3,022	28	3,582	△4	△560
町体育協会 共催事業	1	705	3	1,258	△2	△553
合計	25	3,727	31	4,840	△6	△1,113

また、町民の体力向上と健康増進を図るため、町民健康増進ウィークを設け、プールの無料開放を7月13日から8月4日までの23日間実施しました。この間、延べ5,021人の利用がありました。

健康増進ウィーク事業の利用者数

(単位：人)

施設	令和元年度	平成30年度	増減
アクアパラダイス・ パティオ（深谷市）	4,642	5,582	△940
アクアピア（熊谷市）	379	442	△63
合計	5,021	6,024	△1,003

**取り組みー2 スポーツによる町の活性化**

・スポーツによる町の活性化を図るため、次の取り組みを行いました。

- ① 9月15日に、町出身アスリートである設楽悠太選手が出場するマラソングランドチャンピオンシップのパブリックビューイングを実施しました。当日は約300名が会場に集い、会場一丸となって設楽選手を応援しました。
- ② 令和元年度の駅伝競走大会開催にあたり、平成30年度大会の反省点等を踏まえながら大会運営について見直しを行いました。大会当日は、104チーム、約700名の選手の参加のもと、盛大に開催しました。
- ③ 全国大会等へ出場した選手の激励と紹介、さらには広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に懸垂幕を掲出しました。

## 懸垂幕掲出事業の概要

(単位：本)

区 分	令和元年度	平成30年度	増減
懸 垂 幕	13	25	△12

### 取り組み－3 スポーツ施設の充実

- ・ 寄居運動公園維持管理事業及び総合体育館維持管理事業として、施設の運動環境整備を実施すると共に、施設の機能保全に努めました。

#### 寄居運動公園・総合体育館等の利用状況

(単位：件、人、千円)

施設名	令和元年度			平成30年度			増減		
	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料
総合体育館・アタゴ記念館	1,802	43,407	229	1,927	58,259	164	△125	△14,852	65
寄居運動公園	2,038	31,682	692	2,044	31,116	705	△6	566	△13
グラウンド	156	10,384	292	158	9,871	320	△2	513	△28
テニスコート	897	7,208	316	811	7,232	243	86	△24	73
カタクリ体育センター	674	7,127	84	744	7,169	142	△70	△42	△58
自由広場	311	6,963	-	331	6,844	-	△20	119	-
計	3,840	75,089	921	3,971	89,375	869	△131	△14,286	52

### 取り組み－4 スポーツ活動団体の支援

- ・ スポーツ活動団体の支援のため、寄居町体育協会及び寄居町スポーツ少年団本部への補助金交付や駅伝競走大会、スポーツレクリエーション大会など、両団体の各種主催事業の運営支援を行いました。

## 施策4 青少年の健全育成

### 取り組み－1 地域ぐるみの育成支援

- ・ 地域ぐるみの育成支援として、次の取り組みを行いました。

#### ① 家庭教育支援事業

保護者の家庭教育力の向上と保護者同士のネットワーク形成を図る「家庭教育学級」及び「すこやか子育て講座」を実施しました。「家庭教育学級」「すこやか子育て講座」とともに、参加者数が平成30年度と比べて増加しました。

「家庭教育学級」「すこやか子育て講座」の参加者数 (単位：人)

区 分		寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
家庭 教育 学級	令和元年度	68	75	177	135	86	42	583
	平成30年度	73	209	61	61	114	51	569
	増 減	△5	△134	116	74	△28	△9	14
子育 て 講座	令和元年度	60	26	11	50	75	19	241
	平成30年度	47	24	12	44	55	21	203
	増 減	13	2	△1	6	20	△2	38

② 社会教育団体支援事業

社会教育団体への支援として、次の団体に補助金を交付し、それぞれ青少年健全育成に関する事業が行われました。

社会教育団体への補助金を通じた取り組み (単位：千円)

団体名	補助金額	事業概要
寄居地方ユネスコ協会	25	・「第14回わたしの町のたからもの」絵画展開催 443点出品、54点入選
寄居町PTA連合会	81	・家庭教育委員会 2回開催 ・進路対策委員会 2回開催
青少年健全育成協議会 (3中学校区)	400	・防犯パトロール 通年 ・祭り巡視活動 8回 ・教育講演会 開催
寄居町青少年健全育成 町民会議	80	・青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン 117人参加、啓発品1,000個配布 ・視察研修会(足利学校・こころみ学園) 13人参加 ・道徳講演会・実践発表会 286人参加

③ こどもの居場所づくり事業

こどもの居場所づくり支援として、次の取り組みを行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、「子どもギネス大会」は中止となりました。

「子ども博士検定」の参加者数

(単位：人)

区 分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計	博士(※)
令和元年度	14	6	4	4	14	5	47	6
平成30年度	5	9	4	4	10	3	35	2
増 減	9	△3	0	0	4	2	12	4

※ 参加者のうち、「博士」に認定された人数。

**取り組み－2 いじめ対策の強化**

- ・ いじめの未然防止や早期発見、いじめに対する措置等のため、次の取り組みを行いました。

① いじめ問題対策連絡協議会の活動

いじめ問題対策連絡協議会を2回実施し、いじめ問題に対する各校の取り組みについての情報交換を行いました。また、県主催の「いじめの問題に関する指導者養成研修」への参加者から最新情報の伝達を行うことで、いじめ問題に対する認識の共有化を図るとともに各校の取り組みを見直すきっかけとすることができました。

② いじめ問題把握調査の実施

いじめの早期発見、早期対応のために、各学校で「いじめ問題把握調査」を行いました。調査結果は、毎月教育委員会に報告書が提出され、いじめが解消されるまで経過を注視しました。

町立小・中学校におけるいじめ報告件数と解消率 (単位：件、%)

区 分	報告件数	解消(※)率
小学校	114	87
中学校	18	94
計	132	89

※ 「解消」とは、文部科学省「いじめの防止等のための基本的な方針」における「いじめが解消されている状態」を指し、「いじめ行為がやんでいる状態が3ヶ月以上継続」かつ「被害者が心身の苦痛を受けていない」という条件を満たす状態。

## 第6次寄居町総合振興計画における基本方針

### 「活躍の場の充実」

【異なる国や地域、文化との交流を図り、そこで培われた町民の力を地域の課題解決に活かす場を充実させます。】

#### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援

#### 取り組みー1 ボランティアの人材育成

- ・ 鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人の活動実績は次のとおりで、新型コロナウイルスの影響により利用団体数は減少しています。

ボランティア案内人による案内解説活動状況 (単位：団体、人)

区 分	令和元年度	平成30年度	増減
利用団体数	59	77	△18
利用人数	1,313	1,865	△552
案内人出役総数	92	133	△41

#### 取り組みー2 寄居うん蓄の発掘・ストック

- ・ 分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化的素養等を郷土寄居の文化振興のため、奉仕の精神をもって他者に伝える意欲のある人を発掘・ストックすることを目的に、寄居生活学の達人の新規登録と更新手続きを行いました。

寄居生活学の達人 登録者数

(単位：人)

区 分	令和元年度	平成 30 年度
更新者数	39	38
新規登録者数	1	1
計	40	39

## 施策 2 地域間交流・国際交流の推進

### 取り組みー1 メアリスビル市との交流

- ・ 米国メアリスビル市との交流として、次の取り組みを行いました。

#### ① 中学生海外相互交流事業

米国オハイオ州メアリスビル市の生徒を町へ受入、日本の文化や教育に対する理解を深めてもらうため、ホームステイや学校体験などを行いました。

受 入 期 間	7月6日～15日 10日間
受 入 人 数	生徒6人(14歳～15歳)
ホストファミリー	6家庭(寄居中1家庭、城南中1家庭、男衾中4家庭)
体 験 内 容	ホームステイ、学校見学、授業体験、日本文化体験、工場見学等

## 第6次寄居町総合振興計画における基本方針

# 「一人ひとりを尊重する地域づくり」

【一人ひとりがお互いの権利を尊重し、性別・年齢・国籍・障害の有無などによるバリアを感じることなく、自分らしく社会に参画できる地域づくりを進めます。】

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

## 施策1 人権尊重と相互理解の促進

### 取り組みー1 人権教育・啓発の推進

- ・ 人権尊重社会の実現に向け、人権に対する正しい理解を深めるため、次の取り組みを行いました。

#### ① 人権教育推進事業

同和教育をはじめとする人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に研修会や講演会を実施しました。

人権教育研修会参加者数

(単位：回、人)

研修名	令和元年度		平成30年度		参加者増減
	回数	参加者	回数	参加者	
人権教育指導者養成講座	1	96	1	114	△18
地区別人権教育研修会	13	618	16	702	△84
教職員人権教育研修会	11	325	10	254	71
対象者別人権教育研修会等	11	511	7	346	165
合計	36	1,550	34	1,416	134

## ② 集会所運営事業

集会所事業において、小・中学生学級では、教科学習、人権学習、体験学習及び大里郡子ども会スポーツ交流会への参加を通じた学力向上や仲間づくりにより、人権を大切にする児童生徒の育成に努めました。

また、女性学級では、教養文化の向上と地域・世代間交流を深めるため、健康教室や生け花教室、3B体操を実施しました。

集会所事業実施回数及び参加者数 (単位：学級、回、人)

区分	令和元年度	平成30年度	増減
学級数	6	6	0
実施回数	108	119	△11
参加者	773	914	△141

## ③ 人権教育研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、人権教育を2校（折原小学校・男衾小学校）に委嘱しました。研究は全教科で実施し、「深く学び、自他を大切にし、よりよく行動できる児童の育成」を研究主題とし、人権が尊重される学校づくりに取り組みました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

## 「歴史の継承、文化の振興」

【史跡や文化財などの歴史資源の保護とともに、祭りや伝統行事を継承し、歴史や文化的な豊かさを感じられるまちを目指します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 歴史資源の保護・継承

#### 取り組みー1 歴史と文化を活かしたまちづくり

- ・ 歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるために、文化財を次のとおりに適切に保存・管理しました。また、史跡鉢形城跡伝逸見曲輪の確認調査では、新たな石積や石敷の遺構を発見し、鉢形城跡の虎口機能の解明の一助とすることができました。

① 町内遺跡発掘調査事業

開発行為等に伴う試掘調査の結果と保護措置 (単位：件)

試掘調査結果	保護措置	件数
遺構等検出	発掘調査(※1)	2
	工事立会い(※2)	6
	計	8
遺構等未検出	慎重工事(※3)	14

※1 発掘調査 : 発掘された遺構等の現状保存が不可能なため発掘調査を行った。

※2 工事立会い : 発見された遺構等を保存するために必要な措置を講じた上、工事立会いを行った。

※3 慎重工事 : 遺構等が発見されなかったため、慎重工事を行った。

## 発掘調査件数

(単位：件)

内 容	発 掘 調 査 遺 跡 名	件 数
記録保存のための 発掘調査	露梨子遺跡（8次）・桜沢窯跡第2支群	2
遺跡範囲確認調査	史跡鉢形城跡	1

## 報告書刊行にかかる業務

(単位：件)

内 容	発 掘 調 査 遺 跡 名	件 数
発掘調査結果の整理 及び報告書刊行	東伴場地遺跡（9次）、東原遺跡（3次）、露梨子遺跡（8次）、塚田遺跡（1次）整理作業	4
	露梨子遺跡（6・7次）、東伴場地遺跡（8次）、鉢形城東遺跡（5次）刊行	3

### 取り組み－2 鉢形城公園の維持管理・活用

- ・ 鉢形城公園を活用し、地域へ愛着と誇りを持ってもらえるよう、次の取り組みを行いました。

## 普及活動

(単位：人)

名 称	参加者数	内 容
若葉の会	472	鉢形城歴史館中庭で、生田流箏の会・琴古流康風会の箏・尺八の演奏と裏千家高橋宗房社中による野点を共催で開催しました。
お月見の会	—	台風の影響により中止しました。
体験教室	48	小学校の夏季休業期間中に合わせて、8月10日・21日の2回で勾玉づくり体験を実施しました。
エドヒガンザクラのライトアップ	—	新型コロナウイルスのため中止しました。

### 取り組み－3 史跡鉢形城跡保存整備の推進

- ・ 史跡鉢形城跡保存整備の推進のため、次の取り組みを行いました。

鉢形城跡保存整備事業

(単位：回)

事業名	回数	内 容
鉢形城跡発掘調査指導委員会	1	伝逸見曲輪の確認調査方法等について指導をいただいた。
		新たな石積や石敷が確認された。

### 取り組み－4 鉢形城歴史館の管理・運営

- ・ 鉢形城歴史館の魅力ある展示やイベントの開催など管理運営を行いました。

鉢形城歴史館利用状況

(単位：人、円)

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増減
入館者数	15,198	17,322	△2,124
有料入館者	9,977	10,632	△655
無料入館者	5,221	6,690	△1,469
入館料	1,939,800	2,040,400	△100,600

企画展

(単位：人)

展覧会名	内 容	期 間 (日間)	
記念物百年と 鉢形城跡	文化庁「記念物百年事業」に合わせて、鉢形城跡が記念物として現代まで保護されてきた足跡をパネル展示で辿りつつ、発掘調査で出土した遺物を展示した。	令和元年 10 月 5 日～ 令和元年 11 月 24 日	
		入館者数	2,193

## 施策 2 伝統文化の継承

### 取り組み－1 地域の伝統行事の保護・継承

- ・ 地域の伝統行事の保護・継承のため、次の補助事業を行いました。なお、寄居

町補助金等の交付手続等に関する規則が交付されたことに伴い、これまでの「寄居町指定文化財管理等補助金交付要綱」を廃止し、同様の内容が盛り込まれていた「寄居町文化財保護に関する補助金交付要綱」を改正して、要綱の一本化をはかりました。さらに、内容の見直しを対象団体に対し実施しました。

#### 町指定文化財補助事業

補助金名称	補助団体数	内容
寄居町指定文化財補助金	1	町指定無形民俗文化財の後継者育成と伝承確保のために、金尾白髪神楽獅子保存会に補助金を交付した。

### 施策3 文化活動の充実

#### 取り組みー1 合同開講式の開催

- 生涯学習機会の向上を図るため、公民館講座事業として合同開講式をはじめ、町民の要望に応じた各種講座・教室を開催しました。

##### 講座・教室等の概要

(単位：人、千円)

種別	講座・教室数	参加者	事業費
IT	4	180	140
音楽	5	335	203
外国語	3	374	160
料理	4	208	60
芸術・文化	7	348	159
子育て支援	2	37	5
健康増進	4	557	115
合計	29	2,039	842

#### 取り組みー2 文化講演会の開催

- 文化活動の充実のため、次の取り組みを行いました。

① 文化事業

事業名	内容	成果
文化講演会	6月1日 中央公民館 講師 ゴルゴ松本氏 演題 「命の授業」	508人参加

② 公民館運営事業

中央公民館利用状況 (単位：件、人、千円)

区分	令和元年度	平成30年度	増減
利用件数	3,144	3,253	△109
利用者数	62,819	75,298	△12,479
使用料	1,509	1,190	319

取り組みー3 文化活動団体への活動支援

- 文化活動団体への活動支援のため、次の取り組みを行いました。

① 文化団体支援事業

文化団体連合会と文芸懇話会について、団体の活動支援として会の運営に必要な補助金を交付しました。

事業名	内容	成果
文化団体連合会支援事業	加盟団体の活動の集約として 文連たより(54号)の発行	700部発行
	産業文化祭参加	8団体参加 478点出品
寄居文芸懇話会支援事業	寄居文芸の発行(127~129号)	1,070部発行

② 公民館運営事業

- 生涯学習まつりについては、作品展示の部に39団体、ステージ発表の部に61団体の申込がありましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、事業を中止しました。
- 中央公民館利用団体協議会の加盟団体数は以下の通りです。視察研修には、29団体41名が参加しました。

## 中央公民館利用団体協議会加盟団体

(単位：団体)

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増減
加盟団体数	57	61	△4

## 第6次寄居町総合振興計画における基本方針

# 「自然資源の保全・継承」

【美しい山並み、水の循環、多様な動植物の生息・生育環境など、町の誇りであり貴重な財産である豊かな自然環境を保全・継承します。】

### ○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

#### 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

### 施策1 自然環境の継承

#### 取り組みー1 健全な自然環境・緑の保全

- ・ 自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全を行いました。なお、台風19号の影響により、事業地への進入路が塞がれたことから、管理作業は秋以降実施できませんでした。

#### 天然記念物保護増殖事業

名 称	内 容
県指定天然記念物「ミミカキグサとモウセンゴケ自生地」保護事業	環境整備作業

#### 株数の変化

(単位：株、㎡、箇所)

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減
モウセンゴケ株数	40	13	37
自生面積	0.5	0.5	0
自生圃場数	3	3	0

## IV 結びに

### 識者の評価並びに意見・提言（識者：鴻野 年伸 氏）

#### 1 はじめに

令和元年度の寄居町教育委員会事務の管理及び執行は、台風19号の影響や今も続く新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な対応（以下「コロナ禍」とする）により大きな影響を受けていることが改めてわかりました。

そうした状況の中で「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により実施していただきました本評価・点検は効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たす十分なものであると高く評価できます。

平成29年度から令和8年度を計画期間とする「第6次寄居町総合振興計画基本構想」の中に、寄居町教育行政の主要施策が掲げられ「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、体系的組織的に教育行政重点施策に取り組まれたことがよくわかりました。併せて例年にないこのような状況の中であってほしい御尽力をいただいたことがよく伝わって参りました。

#### 2 点検・評価結果について

点検・評価結果について、記載の順に気付いたことを記させていただきます。また、意見や提言等があるものについては併記させていただきます。

##### (1) 【成長と学びの環境の充実】 について

学校教育と教育環境の充実ですが、社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育むための新学習指導要領の全面実施に向けた取組を着実に行っていただきました。

確かな学力の育成は真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識や技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のために、現在のそしてこれからの学びに不可欠であるアクティブ・ラーニングを取り入れ、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業創りに努めていただきました。その効果を更に確かなものにする「放課後サポートスクール事業」を充実させ、主に算数の授業の補充をおこない、児童約15人に1人のサポーターを配置したことは、よく児童に目が行き届き、きめ細やかな指導を行う上で効果

的なことであります。実施回数については2回の減となっておりますがコロナ禍のための臨時休業との関係であり、やむを得ないところであると考えます。

「土曜サポートスクール事業」に対して4割以上の参加を見るに至っている点は、この事業が中学3年生の生徒の期待を担い定着してきていることのあらわれであり、98%という高水準で希望校への合格という実績につながっている点は評価できることであると考えます。また、「学力向上推進委員会の取り組み」として県教育委員会の指導主事を招聘し、全県下を俯瞰する立場からの指導助言を児童生徒のために活用できたことは真の学ぶ力への第一歩であると考えます。

「英語教育の推進」では、教科化された小学校5・6年生の外国語、そして3・4年生の外国語活動の導入に対して正面から取組を行っていただき、担任教師の研修を実施できたことはグローバル化に対応できる英語教育の推進の基礎を確実なものにすることができたと評価いたします。「中学校英語検定無償化事業」では、中学2年生の受検率が12.4ポイントの減という点は気になりますが、3級以上の取得率が向上していることは好ましいことであると考えます。

「健やかな体づくり」のための専門的な技術を有する部活動指導員を2名新たに配置できたことは、活動日数こそ199日と変化はありませんでしたが、内容の面で大きな進歩であると考えます。教職員の負担軽減及び働き方改革の積極的な推進のためにも更なる充実を期待いたします。

「体力向上推進委員会の取り組み」では3校において研究授業を実施し、授業モデルの提案を行い常に体力向上を視野に入れた取組が、寄居町内の児童生徒の体力調査の結果が依然として県内でも高い水準を保っていることを下支えしており、寄居町の大きな特色でありますので特筆すべき事であると考えます。是非継続していただきたいことです。

「インクルーシブ教育の推進」についてですが、教育サポートセンターにおいて子育ての悩みについて相談に応じていただいていることは、大きな安心の源となっております。電話相談や来所相談件数は減少しているものの、特に専門機関との連携を明記していただいたことで安心の度合いが増していることがわかります。専門機関からのより正しいアドバイスが受けられるよい取組となっていると思われまます。また、全児童生徒の約1割は特別な配慮を要するということが国や県の調査によって明らかとなっておりますが、学校サポーター事業の充実により4名の増員を図っていただいたことは、全ての児童生徒への教育の質の向上及び保護者や教職員の負担軽減という観点からも大いに歓迎されるべきことであると考えます。そして更なる充実を期待いたします。

「特別支援教育事業」では臨床心理士等の専門家によるWISC検査が客観的に児童生徒の特性を見つめることに繋がり、個に応じた深い学びを児童生徒及び保護者に提供できることに直結する可能性が高くなり、たいへん望ましいことであると考えます。

「教職員の資質向上」については児童生徒への質の高い教育を行う上で、教職員の資質を常に向上させることが不可欠です。「より・Eスーパーアドバイザー事業」を始め、教育技術に優れた専門性の高いアドバイザーが指導技術や教育の理念等を指導しつつ巡回することは指導技術のみにとどまらず教師としての在り方等にも重要な影響を与えることができるものと考えます。そこには寄居町の児童生徒へ与える計り知れないほどの高い教育的効果があると考えます。また、指導委員として自ら研鑽を積み、指導主事等の優れた指導の様子に触れ、指導者自身が指導力の質を向上させることで更に水準が高まると考えます。また、研究委嘱による研究テーマに沿った学校の全職員の取組は、教職員の資質向上を経て、より質の高い教育の実現に直結するものと考えます。

「学校情報通信機器の更新・充実」では令和2年度の本格的なGIGAスクール構想の実現に向けて、高速大容量の通信ネットワークの整備の準備を進めていただいたことはたいへん喜ばしいことであると捉えます。学校を離れての在宅での学びや教室内での児童生徒同士の間隔を確保した上での対話的な学び等々コロナ禍による新しい生活様式の中での学校教育の在り方等にも解決の糸口を見出すことができる可能性を十分に感じられる取組となります。今後の更なるICT活用に向けての取組に期待いたします。

「子供たちの安全・安心の確保」では大阪で発生したブロック塀の倒壊による痛ましい事故については記憶に新しいところですが、その安全のための対策を取っていた後に、小学校の遊具の安全対策工事に取り組んでいただいたことはたいへんありがたいことです。「潜在危険は必ずある」と捉え、これからも引き続き継続した取組に期待いたします。

「学校施設の長寿命化」では寄居町公共施設等総合管理計画に基づき学校の統廃合を視野に入れた長寿命化の各種点検・調査の業務を委託して計画策定の基礎作りを行ったことは大切なことであると考えます。「男衾中学校の建替え事業の推進」では「建設準備検討委員会」の提言や小中一貫校のモデル像としても更に検討を加えていただく事が肝要であると考えます。

「学校給食の充実」ではコロナ禍による給食回数の減があったものの、安全・安心な給食の提供のために給食従事者を対象とした給食衛生講習会、安全運転講習会、健

康状態確認などを実施していただきました。また、給食の食材については、野菜類をJAふかや男衾直売所を通じて発注し、地元産野菜の積極的な使用に努めていただきました。結果的に町内産や県内産野菜の使用割合が減ってはいるものの、ラグビーワールドカップ・姉妹提携都市・ブータン王国等々にちなんだ食文化にふれる取組を通して食育の推進を行っていただき、それを献立表や給食だより等で児童生徒や保護者にお知らせできたことは素晴らしいことであると考えます。

このように、給食センター施設の維持管理が計画的に実施され、食中毒防止や学校給食における食物アレルギーによる事故の回避及び地産地消や食育の充実等に尽力いただいていることは高く評価できます。

「就学援助制度の推進」では私立幼稚園就園奨励費補助事業により令和元年10月より新制度の幼児教育無償化が開始され幼稚園就園奨励費補助事業は半年分の支給額となったことでその分の有効活用が期待されるところです。

また、修学資金補助事業として修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、修学資金援助を行っていただいたことや給食費補助事業として多子世帯の経済的負担の軽減を図り、子育ての応援を目的とした、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助については、引き続き実施していただきたいこととあります。

続いて、生涯学習環境の充実、スポーツ環境の充実、青少年の健全育成についてですが、広範囲にわたりたいへん充実した内容であると考えます。

まずその中でも「子どもたちの夢への支援(芸術・文化活動)」では子どもたちの夢への支援のため、近隣の大学でのプログラミング等の講義を受講したり、工場見学などを通じ、子どもたちの好奇心を刺激する場を提供する「子ども大学よりい」を開催していただいたことは、Society5.0の近未来社会を生き抜く寄居町の子どもたちにとってたいへん素晴らしいことであると考えます。

また、「図書館の充実」では市民の多様なニーズに応えるため、図書館資料の整備・充実を進めるとともに、利用者の利便性を向上させるためシステムを更新し、併せて自動貸出機を導入していただきました。これは、利用者の利便性を向上させるという観点からきわめて効果の高いものであると考えます。

しかし、入館者数や貸出点数等で大幅な減となっておりますが、やはりここにもコロナ禍が大きく影響しているものと思われまます。今後の画期的な数値の改善は短期的には見込まれないかもしれませんが、資料の整備や充実には、継続して取り組んでいただきたいと思います。年度末における図書及び視聴覚資料の前年度比4,850点の増は、その伸び率は低下しているものの増加しているということは好ましいことであるととらえます。ただ、児童生徒への1人当たり平均年間貸出図書館資料数は微減で

あるのが気になるところです。引き続きよろしくお願いいたします。

スポーツ環境の充実の「生涯スポーツの推進」では学校施設開放やスポーツ活動推進事業・健康増進ウィーク事業等々に取り組んでいただきました。いずれも利用者数や参加者数が減少していますが、これもコロナ禍のよるものであると考えられます。いずれにしても町民の体力向上と健康増進を図るため、必要なことでもありますので引き続き継続していただきますようお願いいたします。

学校施設開放の利用状況で鉢形小学校が利用者数前年度比2倍以上の4,603人の増であったことは素晴らしいと考えます。

また、9月15日に、町出身アスリートである設楽悠太選手が出場するマラソングランドチャンピオンシップのパブリックビューイングを実施し、約300名が会場に集い、会場一丸となって設楽選手を応援したり、全国大会等へ出場した選手の激励と紹介、さらには広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に懸垂幕を掲出したりしていただいたことはスポーツによる町の活性化につながります。

青少年の健全育成では「いじめ対策の強化」としていじめ問題対策連絡協議会の活動などにより取り組んでいただきました。町立小・中学校におけるいじめ報告件数と解消率が、小学校で87%、中学校で94%であって、高い率ではありますが、必ずしもこれで満足がいくというものではありません。いじめは、「まずは、自分自身が絶対に行わないこと、そして誰であってもいかなる場合であっても絶対に許されることではないという覚悟が不可欠であって、万が一にもいじめられる側にも問題があるから仕方がないことなのだ。」という考え方があるようであれば、それは変えていかなければならないことであるという認識が必要であると考えます。是非とも「ぶれることのない取組」を引き続きお願いいたします。

## (2) 【活躍の場の充実】について

多様な人の活躍・地域貢献活動の支援での鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人の活動実績はコロナ禍により利用団体数は減少していますが、分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化的素養等を郷土寄居の文化振興のため、奉仕の精神をもって他者に伝える意欲のある人を発掘・ストックしていただくことは大切です。寄居生活学の達人の登録と更新手続きを行い、毎年少しずつ増え、現在40人に至っているのは素晴らしいことであると思います。

地域間交流・国際交流の推進の「メアリスビル市との交流」としての中学生海外相互交流事業はメアリスビル市の生徒を町へ受け入れ、日本の文化や教育に対する理解を深めてもらうために、ホームステイや学校体験などを行って地域間交流・国際理解

交流を図っていただく素晴らしい事業であります。一日も早いコロナ禍の収束をみて、中学生が国際理解という広い視野に立った豊かな体験としての交流が引き続き実現できますように願っています。

### (3) [一人ひとりを尊重する地域づくり] について

人権尊重と相互理解の促進では「人権教育推進事業」として、同和教育をはじめとする人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に研修会や講演会等を実施していただきました。引き続きの取組に期待いたします。

### (4) [歴史の継承、文化の振興] について

歴史資源の保護・継承では「鉢形城公園の維持管理・活用」として、地域へ愛着と誇りを持ってもらえるよう、若葉の会、お月見の会、体験教室等を行っていただきました。これには多くの参加者があり、寄居町のよさを広く報せるよい機会であると考えます。しかし、ここでも台風やコロナ禍により中止となってしまった普及活動もありますが、状況をよく見極め、継続発展させていっていただきたいものであると考えます。

文化活動の充実では文化講演会等を開催していただきゴルゴ松本さんの「命の授業」で508人の参加があるなど大盛況であったことは素晴らしいと思われました。

### (5) [自然資源の保全・継承] について

自然環境の継承では自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全に取り組んでいただきました。しかし台風19号の影響によって事業の推進に影響が出たようですが、モウセンゴケの株数が13株から40株に増えた事は幸いであったと考えます。

## 教育委員会としてのまとめ

令和2年度教育委員会の事務に関する点検・評価（対象年度：令和元年度）に当たっては、鴻野年伸氏（前寄居中学校校長）にご意見をいただきました。ご多忙の中にもかかわらず快くお引き受けをいただき、心から感謝申し上げます。

今回は、平成29年度からスタートし3年目を迎えた「第6次寄居町総合振興計画基本構想」の施策に沿って、教育委員会が「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」を基本理念として展開した諸事業について、丁寧に評価をしていただきました。

学校教育では、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びを授業に取り入れていることや、「土曜サポートスクール事業」や「中学校英語検定無償化事業」等の事業について、各学校において定着してきたとの評価をいただきました。今後とも各事業への参加を推進し、更なる学力向上を図ってまいりたいと考えます。

学力向上とともに体力向上についても、町内の児童生徒の体力は、県内でも高い水準を維持していることから、引き続きこうした水準を維持できるよう部活動指導員等の配置や体力向上委員会における研究をしてまいります。

学校遊具等の安全対策については、「潜在危険は必ずある」とのご意見をいただきました。各学校でも日々の点検等にこの意識をもって取り組み、不具合が判明した時には早期の対応を取るようしてまいります。

いじめ対策では、「ぶれることのない取組」をとのご意見をいただきました。学校現場や関係機関とも連携を密にして、いじめが発生しない環境づくりを推進してまいります。

生涯学習では、「子ども大学よりい」でプログラミング等の講義を行い、子どもたちの好奇心を大きく刺激することができたと高く評価をいただきました。AI等が日常生活に活用される昨今では、このような知識が不可欠でありますので、子どもたちに有益な事業を今後とも検討してまいります。

スポーツでは、設楽悠太選手を応援するパブリックビューイング等の事業について、スポーツを通じた町の活性化に大きく寄与しているとのご意見をいただきました。東京2020オリンピックには、当町出身の新井千鶴選手が出場しますことから、大きな声援を送り活躍を祈念するとともに、多くの町民がスポーツに親しみ、健やかな生活が送れるよう啓発に努めたいと考えております。

今回鴻野年伸氏からいただいたさまざまな評価やご意見等は、今後の教育施策の事業展開に反映するよう努め、家庭、地域等と連携し総力を挙げて諸施策を進め、第6次総合振興計画基本構想・前期基本計画の実現を目指してまいります。



令和2年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

作成：寄居町教育委員会

電話048-581-2121（代表）